



平成 24 年 11 月
発行 宇佐市消防団
〒879-0444
宇佐市大字石田 176
宇佐市消防団本部女性部
0978-32-0119

第 27 回 大分県消防操法大会 8 月 26 日 (日) 大分県消防学校にて



第 7 分団 指揮者 中畑慶治
1 番員 川谷 賢 2 番員 稲積偉士 3 番員 定行秀実
補助員 竹林 敦 新田哲也

この大会に宇佐市を代表して、第7分団が小型ポンプの部に出場しました。競技は、小型ポンプから3本のホースを素早く延長し、約60m先にある直径50cmの標的に放水し、的を落とすまでの時間や動作の正確さを競うもので第7分団の選手たちは、競技直前の突然の雨の中でしたが日頃の練習の成果を存分に発揮し、第7位の好成績を収めました。



宇佐市女性消防団の活動紹介

藤皮恵美(部長)他 13 名



定期的には保育園を訪問し、園児と紙芝居による交流を実施します。
定期会で練習する光景 ←



制作
出初式の接待やまとい制作
礼式訓練も欠かさず行っています!



緊急時の支援に備えています。
女性消防団員も講習会に参加し、

救命講習会の様子 →



不安や危険を感じたら早めの避難を心がけましょう。

地震の発生や豪雨等により、災害が発生する場所や状況を日頃から把握し、気象状況等に注意して、不安や危険を感じたら早めに自主的な避難を心がけてください。また、日頃から、あなたの家から避難所までの経路や家族の連絡先を確認して、いざという時に適切な避難行動がとれるように、確認しておきましょう！

※市役所のホームページ→防災・防犯・危機管理→各種防災情報へのリンク→九州電力停電情報、気象庁、大分県雨量水位情報、土砂災害情報提供へアクセスできます。

災害が発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、雨などの状況に注意して、危険を感じたら早めに自主的な避難を心がけてください。

普段からの心掛け！

水害が起こったら

- 災害時には、あなたの家から一番近い避難所が使えない事態も考えられます。近い避難所を2箇所以上確認しておきましょう。
- あなたの家から避難所まで実際に歩いてみて、もしも周辺の土地が水に浸かった場合、避難経路の周囲に側溝、水路や段差など危険な箇所がないか確認しておきましょう。
- 家族で避難時の行動について話し合いをしましょう。
- 普段からテレビやラジオで雨や台風などの情報に注意を払うようにしましょう。

- 不安を感じたら早めの避難をしましょう。
- 夜間の避難は大変危険が伴いますので、できるだけ早めの避難をしましょう。
- 避難するときは一人で行動せずに、近所の人たちと声を掛け合い一緒に避難しましょう。
- 避難時の荷物は、貴重品、必要な食料、衣類、日用品など必要最小限にしましょう。
- 避難時の荷物は、リュックなどに入れ、できるだけ両手を空けておきましょう。



避難時の持ち物



洪水の中を歩く時の注意事項

- 歩ける深さは、男性で約70センチ
女性で約50センチ
- 水深が腰まであるようなら無理は禁物。高所で救助を待ちましょう。
- はきものは、裸足、長靴は禁物。ひもで締められる運動靴がよい。
- お年寄りや身体の不自由な人は背負う。
- 幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用するなどして安全を確保し、避難させる。
- 水面下の障害物や凹凸が分からないので、長い棒などを杖代わりにして安全を確認しながら歩くこと。
- はぐれないようにお互いの体をロープで結んで避難を。
- 特に、子供から目を離さない。

